

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和2年11月18日 午後7時00分から午後8時35分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、池内万雄委員、金井修一委員、小林明美委員、小山和博委員、桜井敏雄委員、城下昌史委員、鈴木三千夫委員、滝沢友子委員、橋詰明德委員、樋沢茂委員、宮下覚委員、宮島友和委員、依田せつ子委員【欠席委員5名】
5 市側出席者	大平地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、小山市民サービス課長、佐藤産業建設課長、宮下商工観光担当係長、芳池丸子・武石上下水道課長、坂部地域政策担当係長、鈴木地域担当、増田主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年11月 日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (金子副会長)
2 あいさつ (池内会長)
3 報告・協議事項
(1) 令和3年度 当初予算における基金充当予定事業について【地域振興課説明】
【質問・意見等】
(委員) 武石おねり保存会補助事業について、保存会からの意見、要望を聞き、話し合いをした結果の予算なのか。
(市) おねり保存会正副会長と協議した結果の予算である。
(委員) 実際には、600万円～800万円を要する事業費に対し、約半分の補助をいただきありがたい。
(委員) 武石地域全域公園化構想推進事業中の、草刈り機等の運搬に関する維持管理経費及び運営費について、利用状況と個人の荒廃地を自治会が行う理由は何か。
(市) 4月から現在までの利用状況は、破碎機：8自治会 乗用草刈り機：6自治会 畔草刈り機：0である。貸出団体は自治会や地域団体で、個人所有地をなぜ行うかについては、個人ではできなくなってしまって、周囲に迷惑が掛かっている。景観、火災予防等の理由で、自治会が認め自治会として作業を行い、市も審査して行っている。
(委員) 福寿草群生地、あじさい公園他維持管理事業について、地元の希望として流された場所に植栽するのか。また、再度流される危険がある場所だと思うがどうか。
(会長) 四者会議で公園化構想について協議した結果、今後、地元とよく協議をして、現地対応して検討していくことになり、自治センターからも話し合いをすることにした。
(市) 緑化推進事業予算で、苗木を購入し配布できることを伝えた。 上流の整備についてはすぐにはできない。また、災害復旧した場所については、客土や整地の予算がないため、災害復旧した場所で生き残っている株があるのでその周りに植栽をしたらどうか提案をした。客土等については搬入土購入費用がないので、他工事で発生した良質残土を入れることも検討していると伝えた。
(会長) 上流の本格復旧は未定とのことであり、植栽事業用地には個人所有地もありどうするか等の課題が多い。四者協議として今後引き続き検討していく課題あるが、苗木の配布はできるので地元で植栽はできる。

確認として、持寄り基金の残額は約2億9百万円となっている。

(2) 武石診療所における市民アンケート調査の結果について【市民サービス課説明】

【質問・意見等】

(会長) 合併して、上田市全体としての統廃合計画はあるのか。

(市) 具体的なものはない。

(委員) このアンケート結果を見る限り、住民の切実な思いが良く出ていると感じる。

診療所の医師は着任して8年目となり、この先生を引き止めることはできるのか。

他の先生に来ていただくことはできるのか。上田市がやってくれるのか。

(市) 本人の意思もあるが、この地域から医療がなくならないよう力をつくす。

(委員) 具合が悪くなった時の診療所の役割は大きい。数年後の先を見据えて診療所の在り方を真剣に進めるべき。

(委員) 他市では奨学金制度等で医学生を援助した後、市の医療施設への勤務を依頼している例があると聞くが、上田市ではどうか。

(市) 市でも行っている。

(会長) 来年度には何らかの方向付けが示されるのか。

(市) 来年には、先ず施設について協議会で議論していただき、4月以降に診療所のあり方について、協議会で議論していただき、方向付けをしていきたい。

(3) 岳の湯温泉雲溪荘のあり方について【産業建設課の説明は無】

【質問・意見等】

(会長：配布資料の説明と前回の課題事項の確認。)

あり方検討の進捗については、昨年台風災害による道路の被害、また、新型コロナ感染予防対策等で集客は減っており、計画どおりには進んでいない状況。

平成31年度と令和2年度を比較すると、宿泊者は39パーセント、日帰り入浴者は25パーセントと減っている。(コロナ感染予防対策の影響もある)

協議会から市へ意見書を提出し、市からの回答内容について、さらに詳細な内容を市へ確認中であり、今後、市から報告があり次第協議会として検討議論していきたい。

(委員) 地元自治会などで計画している会議や懇親会をなるべく雲溪荘を利用するよう努めているが、コロナ禍で思うように利用できない。周辺の団体等は利用促進のため努力をしているが、雲溪荘自体が努力している内容についてはどうか。

(会長) 言われることはよくわかる。雲溪荘自体も市からの支出金を減らすよう目標値を決め努力をしているが、コロナ禍でまだ具体的な結果は見えてはこない状況にある。引き続き協議会でも注視し検討議論していきたい。

(委員) 「使って残そう雲溪荘」と響きのいい言葉だが、具体的な対策として周辺住民の利用努力だけでなく、雲溪荘自体の努力が見えてはこない。

(会長) 質問だけではなく、協議会として対策を提案し形を残さなければならないし、「日帰りでもよから周辺が利用しようよ」と住民への具体的な呼びかけも大切である。

資料として出されている数値と目標を客観的に見る限り厳しい状況にある。雲溪荘自体と地域双方にとって相当な努力が必要で、コロナ禍ではあるが、地域協議会がバックアップし応援しましょう。このことは雲溪荘だけではなく番所ヶ原スキー場等「上田市全体の施設経営状況に

ついて市はどう考えているか」もあるが、雲溪荘を他人事ではなく地域として利用し守っていく努力を示しましょう。

次回協議会に間に合わないので、正副協議会長と自治センターと相談して、12月に向け住民へ利用促進のチラシを配布することを了解願いたい。

(委員) 聞いていると、利用が減っている原因をコロナ禍としているように思える。逆にGOTOキャンペーンを利用して予約が取れないホテル旅館もある。単純に雲溪荘には魅力がないからではないか。

(会長) 確かにそれは言えるが、いい施設には人は集まる。普段行けない高級ホテル旅館にGOTOを利用して半額で行けるからである。雲溪荘の魅力を作るため指定管理者の努力が必要であるが、地域協議会としても努力をしましょうということ。

(委員) 逆に古さを売りに出すことも一案かと思うが……。

(委員) 地域協議会の委員が実際行って、コロナ対策や施設、支配人と話をし、自分の目で確認して地域や周りに、ロコミ（スマホ）を利用しながらアピールしていきましょう。

(会長) 実際に私が見た状況は、料理は食べてはないが、コロナ対策については予算的な制約があるかと思うがしっかりやっていると感じる。皆さんも実際に確認し対策の検討をしていただきたい。過疎地を運営する策はあると思う。例えば「ポツンと一軒家」をもじって「ポツンと一軒宿」JRの大人の休日へ「雲溪荘」を組み入れてもらう。東京へのサテライト、有志が手弁当で行っての宣伝活動等、我々の考えの伝え方はいろいろあると思う。

今は、雲溪荘（市）がどのような対策を行いどのような方向性を出すのか確認している段階であり、皆さんも自身のこととして対策等を考えてほしい。

12月に地域協議会として地域の皆さんに利用促進のための呼びかけを行いたい。チラシを配る予定で、内容は任せてほしい。

(産業建設課) チラシの説明

首都圏内と長野県内にそれぞれ配布している。埼玉県でのイベントでも宣伝活動を行う予定。

GOTOトラベル利用も可能で、直接雲溪荘へネット予約か電話予約していただく。

GOTOイートの利用方法については雲溪荘へ確認する。

【チラシの内容について雑談あり】チラシの説明が分かりにくいのでもう少し改善が必要。

(産業建設課) GOTO イートについては、雲溪荘を利用する場合は郵便局で紙のクーポン券を購入していただき受付へ出せば利用できます。

改善した分かりやすいチラシに作り直す。

(会長) 指定管理者としての方向性が出された後、協議会として検討議論することで本日は了解願いたい。

(4) その他

(次長) 武石地域総合センターの進捗について

・総合センターは12月中に完成し、外構工事も12月末には完了する予定。

3月29日から武石地域総合センターでの業務開始予定。

・新庁舎見学会は、12月9日（水）の午前1回午後1回計2回行う予定。

○ 第6回地域協議会の日程について

日時：12月16日（水）午後7時から

場所：武石地域自治センター 第1会議室

4 閉 会（金子副会長）

雲溪荘を皆さんで利用しながら、考え研究していきましょう。